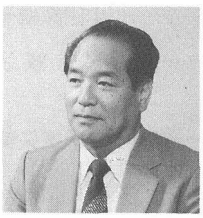
せいかつか

SEIKATSUKA EDUCATION

第５号
1998

日常語で考える

益地勝志



生活科に限らず，単元名というものは，むずかしい，例えば，学校たんけんと言うと，学校をたんけんさせればよいと思いがちである。

また，漢字と日本語の関係も，教育をむずかしいものにしている。

柳父章氏の文の中に，次のようなのがある。落語に出てくるご隠居さんは，よく熊さん，八つぁんを相手に，語源論をやっている。たとえば，「あのお，『うわばみ』ってのは，どうしてまた『うわばみ』ってんですか」「そうだな，うわってものがあるな」「おどかしちゃいけません」「『うわ』ってものがあると思え。その『うわ』はな，『ばみ』るんだ。『うわ』が『ばみ』る。それで『うわばみ』だ」「へぇー，わたしゃ，『うわ』ってものは『ばみ』らないものとばっかり思ってました」このようなナンセンスなやりとりは，日本語についての鋭い風刺であると思う。うわばみという言葉を文脈から切り離して考える習慣がある。教育用語の中にも，このような例が多くある。主体的とよく言うが，本当に子どもが主体的になることではない。ある条件のもとで主体的になるのであって，子どもが本当に主体的に動き出すと，困るのである。問題解決という言葉，課題と問題という言葉，例えば，イモを植えようという課題が生まれると，一人一人が苗をもらい，さあ植えようとすると，一人一人の経験の違いから，どんな植え方がよいのかと一人一人が問題を持ってくる。そのつみ重ねが問題解決であるが，イモはどうして植えたらいいのだろう？と課題と問いに変えて，子どもによびかけると，一斉学習になり，一人一人の問題にはならない。このほんの少しの気使いで楽しい学習から，楽しくない学習に転換してしまう。

生活科における，学校たんけんという学習も，「幼稚園，保育園と学校はどんなところが違っていますか，似ているところはありますか？」と問われる方が子ども達は，容易に，学校たんけんをすることが出来るのではないだろうか，と思うのである。時間の流れに沿って比較するという日常考えている考え方で語りかける工夫をもっと，生活科の中にとり入れてはどうだろうか。それは，子どもの側に立った表現をするということである。

公園に行こうという単元についても，学校での遊びと比べて考えさせては？もっと，自由に考え始めるのではないだろうか。研究会や，日頃の授業の発言をテープにとってみると，よくわかるのである。日頃語り合っている調子と違っているのに気付くはずである。

今，生活科の授業にとって一番大切なことが，教師一人一人が自分の発言ぐせを直し，日常普通に語っている言葉で子どもに語りかけることだと思うのである。その基礎となるのは，時間の流れに沿った，比較の言葉をもとにしながら自然な語りかけをすることではないだろうか。

日本生活科教育学会

せいかつか　(*SEIKATSUKA EDUCATION*)

目　次

◆日常語で考える……益地勝志　1

特集 I　子どものかかわりと支援

◆子どもの事実に学ぶ生活科……小田原誠一　4

◆自然・社会・人と関わる子どもたち……磯谷敦子　10
－第1・2学年複式「カエルの学校」を通して－

◆地域のよさを味わい，学ぶ力を育む生活科の授業……小笠原扶久美　16
－交流学習を核とした大単元構想の試み－

特集 II　合科・総合と生活科の可能性

◆総合学習による生活科の原理的側面の見直し……平野朝久　22

◆自分らしく主体的に生きる力を育てる「統合」の学習……小野間正己　28
－高学年「統合」の授業実践から探る－

◆子ども自らが創り上げる授業への挑戦……山本ちはる　34

◆子どもの学びは総合的である……林　武司　40

特集 III　現職教員の研修

◆生活科担当教師への研修機会提供……松下倶子　46

◆現職教育の研修に携わって……吉田豊香　52
－受講生と共に学ぶ中で仕事への夢を膨らませて－

自由稿

■学びの社会的編成：相互行為としての支援……稲垣成哲・山口悦司　58

■生活科教科書にみられる「遊び」の特性……外池　智　66
－場所，対象，活動を視点として－

■生活科の授業における「関心・意欲」と「気付き」との関連についての実証的研究……野田敦敬　74

■ドイツの基礎学校における事実教授と新しい教科横断的学習……原田信之　82

第5号　1998年

日本生活科教育学会

■表現活動への意欲を高める……小林眞智子　90

■児童の思いや願いを実現する支援のあり方……小川聖子　98
－長期的な学習意欲を高める製作活動－

新しい授業の試み

■地域とのふれあいを生かした生活科……河井　彰　106

■生活科の成果を全教育課程の中へ……小林毅夫　110
－教育課程に関する研究開発学校からの報告－

■生活科教育はふるさと教育……澤村理恵　113
－“誰か故郷を想わざる”池川からの発信－

日本生活科教育学会会則……116

学会だより……117

訂正とお詫び……118

機関誌編集委員会投稿及び編集規定……119

編集後記……120